

平成29年度 第1回松本市公共施設再配置計画策定検討部会 会議録

- 1 開催日時 平成29年6月30日（金）11時30分から12時
- 2 会場 松本市役所 第一応接室
- 3 出席委員 長瀬一治会長、平林大喬副会長、新垣匠委員、太田理恵委員、北村大治委員、中田和子委員、美谷島いく子委員、藤井明美委員、宮澤次郎委員、宮本理太委員、三代沢二三恵委員、吉澤由紀子委員（以上12名）
- 4 事務局出席者 財政部長（高野一司）
契約管財課長（森本千嘉）
行政管理課長（市川英治）
契約管財課課長補佐（清澤明子）、契約管財課管財担当（中野浩明）
行政管理課課長補佐（田中史郎）、行政管理課係長（池上浩平）
- 5 次第
 - (1) 開会
 - (2) 財政部長あいさつ
 - (3) 事務局職員紹介
 - (4) 議事
 - ア 公共施設の今後のあり方と再配置に関する市民アンケートについて
 - イ 今後の予定について
 - (5) 閉会
- 6 配付資料
 - (1) 公共施設の今後のあり方と再配置に関する市民アンケート調査について（資料1）
 - (2) アンケート案（資料2）
 - (3) 対象施設一覧（別添資料）
 - (4) 当日配付 松本市公共施設等総合管理計画概要版
- 7 会議録（要約）
 - (1) 開会（契約管財課長）
 - (2) 財政部長あいさつ

○財政部長

前回の行政改革推進委員会の中で、本市の公共施設マネジメントについてご説明させていただき、各種団体から推薦された委員の皆さまには、本委員会の委員にご就任くださいますようお願いしました。また、市民委員の皆さまには、就任についてご検討いただくようお願いしましたところ、全委員の皆さまに委員をお引き受けいただきました。大変、感謝申し上げます。

この検討部会で、皆さまからご意見をいただきながら、公共施設再配置計画を策定してまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

(3) 事務局職員紹介（自己紹介）

(4) 議事（進行：会長）

ア 公共施設の今後のあり方と再配置に関する市民アンケートについて

(ア) 資料説明（事務局）

(イ) 質疑・意見交換

○会長

ご説明いただいたアンケートに関して、ご意見をお願いしたい。

○委員

設問の中に「あてはまるものを3つまでお答えください」、「2つまでお答えください」と○をつける数を決めているが、2つと言われるとあてはまらなくても2つ○をつけてしまう。数字というものはすごく無責任になりがちである。

一生懸命に記入しようとするため、「あてはまるものをお答えください」というように数を指定しない方が良いと思う。

○委員

設問の中で2つ、3つと○をつける数を決めることをやめた方が良いという意見について、「当てはまるものを全てお答えください。」とするか、「1つしかありません。」と説明を書けるようにしたらどうか。

あまりにも回答の選択肢が多いため、身近にある気になる施設を記入して欲しいというような欄があっても良いのではないか。

○委員

対象施設一覧に記載されている施設に「○○等」とあるが、この他にもたくさん施設があるということか。

○事務局

対象施設は700施設ほどあるが、全施設を記載することは難しく、細かく記載しても施設のイメージが湧かない。メインとなる施設を記入するように変更したい。

○委員

字のポイントを大きくしていただきたい。

○委員

属性に関して、子供がいる方は子育て施設を利用するし、高齢者のご家族がいる方は医療保健施設や高齢者が使う施設を利用すると思う。

質問数は少ない方が良いとは思いますが、属性は複数取っておかないと後の分析が雑ばくなものになってしまうのではないかと。子供がいるかいないか、高齢者が家族に中に入っているかいないかくらいは聞いておいた方が良い。

問2について、既に策定済みの公共施設等総合管理計画について聞いて、市の方針と違うデータが集まってしまった場合どうされるのか。削減することに対して、理解を示す市民の方が基本的には少ないと思う。市の方針と反対の結果が出てしまった場合、計画を見直すのか、それを想定したうえで質問をしているのか。

問8について、市民の方にお聞きして政策を決めていくことは正しいことだと思うが、市民が判断できないものの中にはある。例えば、博物館等の建て替え計画が進んでいる中、博物館を民営化し外部に任せていくのかということについては、行政の方針は決まっていると思う。それを情報のない市民に判断していただき、その結果で方針を変えるのか。市民は、おそらく何かを調べてアンケートに答えるというより、直観的に答えると思うが、意見をお聞きしても大丈夫か。以上3点が気になった。

○事務局

属性について、子供がいるかいないか、高齢者の家族がいるかいないかという問いを増やすかということは検討したい。

問2について、公共施設等総合管理計画は、おそらく市民の方々は知らないと思う。数字的にどのくらいの方がこの計画を知っているかを把握したい。また、反対意見が多ければ、どうしてこの計画が必要なのかという周知活動をもっと行わなければいけないと考えている。

問8について、公共施設マネジメント基本方針に民間活力の導入という部分があるため、市民のイメージとして、民営化・民間活力を導入した方が良いという意向の強いものはどれか、民営化・民間活力の導入に関するベクトルがどこにあるのかということを知りたい。

○委員

利益の上がる事業は民間委託で良いと思う。けれど、行政が直営でやらなければならない、削減できない施設もある。

松本市では公民館活動が盛んで、風土づくりや町の境界ということに対して市民意識が強くある。他の自治体では、公民館を集合化させていくという時代に、松本市では、各地区に公民館は必要であるという想いから現在に至った経過がある。そういった経過を知らない市民から、公民館の削減という意見が出された場合、市は、どのような対応をされるのか。

○事務局

確かに松本市の公民館活動はすごく活発である。しかし、公民館の利用率が高いといっても、何人の人が利用しているのか。コアな人たちが活動し、利用しているのではないだろうかというような踏み込んだ把握が必要。公民館を維持していくとなれば、どうやって幅広い人に利用していただくか、市民の皆さんと議論し、市としての方向性を決めていかなければならない。

○副会長

公民館に関連して、もし、「町会というものが無かったらどうか」というような意見が出されれば、今後、町会というものをどういう方向性にするのかという協議の検討材料につながる。耳当たりのいい話だけでなく、色々なご意見をお聞きしたい。

「公共施設等総合管理計画」を初めて見た人からは、松本市の財政はそんなに厳しいのかという印象を持たれかねない。そういう意見が出た時に的確に答えられるように、あらかじめ準備しておいてもらいたい。

○会長

次回開催までに、市の全体予算、決算、ストックの量、貸借対照表を提出してほしい。

年間28.5億円という削減額が、全体の中のどの位値なのかが分からないと、議論のしようがない。また、その中で、福祉に係る予算がいくら増え、何をいくら減らしていくのかがわかるものを、事前に配付していただきたい。

イ 今後の予定

○事務局

本日いただいたご意見を参考に、アンケート内容を再度検討する。アンケート発送は7月下旬、回収は、8月中旬を予定している。

次回開催は、10月を予定しており、その時にアンケート結果をご報告させていただき、再配置計画の基本方針案についてご協議いただく予定

なお、修正したアンケート内容について、アンケート調査実施前に委員の皆さまにお送りしたい。

(5) 閉会（契約管財課長）